

指定管理者モニタリングレポート（令和6年度）

作成日 令和7年6月17日

施 設 名	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター	
所 在 地	美濃加茂市新池町3丁目4番1号（総合福祉会館内）	
指 定 管 理 者	名 称 社会福祉法人 慈恵会 代表者 理事長 山田 実貴人 住 所 岐阜県美濃加茂市下米田町東栃井 81 番地 2	
指定期間・選定方法	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	公募・ <u>非公募（任意指定）</u>
モニタリングの実施方法等	指定管理者が公の設置目的を理解し、制度運営の透明性を確保しつつ、効果的かつ適正な管理運営を行い、良好なサービスの提供を行っているかを確認するため、指定管理者が提出した事業報告書等の資料と聞き取り調査に基づき期末モニタリングを行う。	
担 当 課 （問合せ先）	市民福祉部高齢福祉課	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

事業運営に関して問題はなく、利用者個々の機能向上及び健康増進のため、前向きに取り組む姿勢や工夫が確認できた。経理、施設管理、職員研修等、法人として適切に体制が整えられている。よって、すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンターを、適正かつ円滑に管理し、利用者に対し適切な通所介護サービスを提供していることを確認できた。

①経営分析に関すること

収支計画に沿って適正に事業が実施されていた。

事業収支は 3,185 千円であり、黒字収支となっているが、昨年度に比べて減少した。利用者数も減少しているが、減少の理由としては、入院した人が多かったことにより、利用回数が減ったことなどが挙げられる。

人件費比率が増加しているが、常勤職員が増えたことが理由として挙げられる。

利用者1人当たりの市負担コストが増加したが、特殊浴槽及び入浴用車椅子を購入したことによる。

②事業計画・実施事業に関すること

年度当初に設定した事業計画、仕様書に基づき、適正に事業が実施されていた。

施設職員体制については、介護保険法で定める人員基準以上の職員で事業を実施していた。

法人において、集合研修やオンライン研修を実施していた。研修内容には、倫理及び法令、接遇等も含まれている。研修及び管理者の指導により、利用者に対する公共性・公平性が保たれていた。

③経理に関すること

経理は法人本部で統括して適正に処理がされていた。

公認会計士の監査も受けており、適正に執行管理がされていた。

④施設管理に関すること

デイサービスセンター管理者と法人本部が連携し、緊急時の体制等が整えられ、施設運営上の安全・リスク管理が適正に行われていた。

⑤サービスに関すること

祝日の営業や、各利用者に応じた効果的なプログラムを実施するなど、稼働率向上に取り組んでいた。

アンケートの実施を、利用者及び利用者家族、居宅介護支援事業所を対象に年1回行っており、良好な意見を得ていた。また、アンケートによる要望等については、サービスの向上に活かしており、アンケートの回答方法に二次元コードを取り入れるなど、アンケート方法においても改善を行っていた。

ペーパーレス化を実施し、経費削減を図る取組みをしていた。

⑥その他

個人情報の取り扱いについては、法人全体で厳しく管理されており、法人内で一括管理されていた。

また業務実施に必要な保険についても法人として加入しており、適正に運営がされていた。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和6年度)

総合評価	A
------	---

実施日 令和7年6月17日

担当課 高齢福祉課

対象施設	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター	選定方法	公募・ <u>非公募(任意指定)</u>
設置目的	居宅要介護者への通所介護及び高齢者の生きがい活動を支援するため		
指定管理者名	社会福祉法人 慈恵会	指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31

総括	B	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	評価
① 経営分析	事業収支(円)	19,594 千円	8,422 千円	17,468 千円	9,307 千円	3,185 千円	B
	利用料金比率(%)	16.2%	15.7%	15.8%	16.1%	17.6%	A
	人件費比率(%)	79.8%	80.1%	78.6%	78.1%	81.3%	B
	外部委託費比率(%)	1.3%	1.2%	1.2%	1.4%	1.3%	A
	利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	7,164 円	6,411 円	6,992 円	7,918 円	8,492 円	B
	利用者1人当たりの市負担コスト(円)	53.7 円	78.2 円	1180.9 円	65.3 円	862.5 円	B
	施設1㎡当たりの利用者数(人)	19.44 人	17.12 人	21.52 人	20.65 人	20 人	B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

②実施事業に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか			B	協定書及び仕様書、事業計画に基づき、適正に事業が実施されていた。
2	収支計画との整合性はあったか			B	収支計画に沿って適正に事業が実施されていた。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	仕様書に基づき、適正に守られていた。
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に整えられていたか			A	必要基準以上に介護職員等の人員が配置されていた。
5	公共性・公平性が保たれていたか			A	利用者全員に公共性・公平性が保たれるよう、管理者が職員に対し確認・指導するようにされていた。法人においても研修が実施されていた。
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			A	昨年度の改善指示事項及び要望について、適切に回答・対応していた。
7	自主事業は適正に実施されていたか			—	自主事業の実施無し。

③経理に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	指定管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	法人本部で適正に管理されていた。
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	協定に基づき、修繕等が必要な場合には事前に市へ知らせるようにし、適正に行うようにされていた。
3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分して管理されていたか			—	自主事業の実施無し。
4	帳簿が適正に記載・管理されていたか			A	法人本部で帳簿をまとめており、収支に関する書類は適正に管理されていた。また、公認会計士の監査も受けていた。

5	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか	A	上記同様。
6	現金は適正に管理されていたか	—	指定管理施設での現金取扱なし。

④施設管理に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	協定書及び仕様書に沿って実施されていた。
2	清掃は確実に行われたか			A	清掃及び消毒は入念に行われていた。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			A	管理者、副管理者、法人本部で管理する体制が整えられており、緊急時にも対応できるよう適切に管理されていた。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			A	施設内での緊急連絡体制は管理者以下整えられており、法人全体での連絡体制も整備されていた。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			A	危険のないよう片付けられており、避難経路も示されていた。
6	備品は適切に管理されていたか			B	市及び法人の備品台帳で管理されていた。
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか			—	駐車場の保全・管理及び施設の警備は総合福祉会館の指定管理者が協定に基づき行っていた。

⑤サービスに関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			A	祝日も営業がされている。サービス向上のため、個々の利用者に応じた効果的なプログラムを実施し、稼働率の向上に取り組んでいた。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			A	苦情内容に応じて職員または法人本部で対応していた。また法人内に苦情処理委員会が設置されていた。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	苦情受付簿が整備されていた。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	法人のホームページにおいて、施設の詳細・特徴が掲載されている。
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			B	管理者と法人本部の職員で適正に行われていた。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			B	アンケートに記載のあった内容を職員に周知し、サービス向上に活かしていた。
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	法人全体で職員研修を行っており、アンケート結果では、接客態度について利用者から好評を得ていた。
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか			A	管理者で補修できるものは可能な限り補修し、修繕料の削減を行っていた。ペーパーレス化を実施していた。

⑥その他		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開は適正に行われたか			B	市と密に連絡をとっており、必要な情報については随時公開されていた。
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			A	鍵付きのキャビネットに個人情報を含んだ書類は保管されており、適正に管理されていた。
3	環境に配慮した事業を推進したか			B	SDGsに配慮した事業を行っていた。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	法人全体で必要な保険に加入していた。

5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか	A	ヒヤリハットの周知、声掛け、適切なケアの方法等、研修を実施し法人全体で共有する体制が整えられていた。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がされていたか	B	法人全体で労働条件等の契約を行っており、適切な配慮がなされていた。
7	地域との連携・協働は図られたか。まちづくりに配慮した事業を推進したか	B	ボランティアとの交流等、地域とのつながりを創出していた。
8	市と連絡を密にしていたか	A	問題等が発生した場合には、細かなことでも管理者もしくは法人本部から連絡するよう体制づくりがされていた。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入／収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率(%)	人件費／支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎしていないかを評価できる。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計／支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎしていないか評価できる。
◆利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者1人当たりの市負担コスト(円)	市の支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設1㎡当たりの利用者数(人)	延利用者数／延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

※過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている

③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている
--------	--

指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報

令和7年6月17日

指定管理者名	社会福祉法人 慈恵会	担当課	高齢福祉課
指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31	選定方法	公募・ <u>非公募(任意指定)</u>
施設名	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター	施設の種類	高齢福祉施設
所在地	美濃加茂市新池町3丁目4番1号(総合福祉会館内)		
設置根拠条例等	介護保険法第8条第7項、美濃加茂市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	在宅要介護者への通所介護及び高齢者の生きがい活動を支援するため		
実施事業	通所介護及び第1号通所事業		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	17, 821. 56㎡(総合福祉会館敷地)		駐車場 台数	179台(総合福祉会館) ※すこやかデイ管理分5台			
	内借地面積	729㎡	契約期間	※福祉課が契約		借地料	※福祉課が契約	
建物	設置形態	市所有 賃貸借	契約期間	—		賃借料	—	
	建物の内容	福祉施設(総合福祉会館1階一部)						
	主要な建物の 建築年月	平成6年3月			取得 時期	—		
	延床面積	369. 57㎡		構造	RC 構造		階数	1
	耐震基準	新	耐震 診断	不要	耐震 補強	不要	Is値	—
	ユニバーサル デザイン化 状況	実施 一部実施 未実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者 用トイレ	その他
			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	—
	大規模修繕 等実施状況	令和6年度に特殊浴槽及び入浴用車椅子購入						
留意事項								

3. 管理・運営の現況

開館日数	308日	休館日	日曜日 12/31~1/3	開館時間	8:30 ~ 17:00
職員数等 管理体制	18名 (管理者1名(生活相談員と兼務)、生活相談員2名、介護職員6名、パート職員4名、看護職員3名、調理員3名)				

4. 施設の維持管理コスト等

市の 収 支 状 況	(単位:千円)		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
	支 出	支出合計	386 千円	495 千円	9,396 千円	499 千円	6,377 千円
		人件費	—	—	—	—	—
		修繕料・工事請負費	386 千円	493 千円	8,033 千円	222 千円	136 千円
		光熱水費	—	—	—	—	—
		委託費・指定管理料	—	—	1,315 千円	—	—
		賃借料	—	—	—	—	—
		その他	—	2 千円	48 千円	277 千円	6,241 千円
	収 入	収入合計	—	—	—	—	—
		使用料・手数料	—	—	—	—	—
		その他業務収益	—	—	—	—	—
		業務関連収益	—	—	—	—	—
指定 管 理 者 の 収 支 状 況	(単位:千円)		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
	支 出	支出総合計(a+b)	51,467 千円	50,606 千円	55,629 千円	60,447 千円	62,789 千円
		支出合計(a)	51,467 千円	50,606 千円	55,629 千円	60,447 千円	62,789 千円
		人件費	41,065 千円	40,579 千円	43,729 千円	47,237 千円	51,037 千円
		事業費	5,534 千円	5,001 千円	6,247 千円	6,146 千円	5,765 千円
		維持補修費	262 千円	194 千円	100 千円	261 千円	122 千円
		光熱水費	2,033 千円	2,004 千円	2,375 千円	2,451 千円	2,550 千円
		保守点検等委託費	285 千円	296 千円	301 千円	291 千円	256 千円
		その他	2,288 千円	2,532 千円	2,877 千円	4,061 千円	3,059 千円
		自主事業支出(b)	—	—	—	—	—
	収 入	収入総合計(c+d)	71,061 千円	59,028 千円	73,082 千円	69,754 千円	65,974 千円
		収入合計(c)	71,061 千円	59,028 千円	73,082 千円	69,754 千円	65,974 千円
		指定管理料	—	—	—	—	—
		利用料金	11,516 千円	9,099 千円	11,571 千円	11,273 千円	11,713 千円
		その他	59,545 千円	49,929 千円	61,511 千円	58,481 千円	54,261 千円
		自主事業収入(d)	—	—	—	—	—

5. 施設の利用状況

		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度		
開館日数		295 日/年	280 日/年	308 日/年	309 日/年	308 日/年		
利用件数		—	—	—	—	—		
利用者数		7,184 人/年	6,329 人/年	7,956 人/年	7,634 人/年	7,394 人/年		
定員		30 人/日	30 人/日	35 人/日	35 人/日	35 人/日		
部屋別稼働率	名称	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター			平日・土祝	100%	日	0%
	午前	100%	午後	100%	夜間	—	計	100%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	通所介護事業	利用者数等	7,394 人/年
	事業内容	通所介護及び第1号通所事業		
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
特記事項				

7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	利用者及び利用者家族の要望を可能な限り聞き取り、サービスの提供を行うようにしている。
コスト面	令和 6 年度は、常勤職員が増えたことにより、人件費が増加している。
利用者数・稼働率	令和 6 年度の利用者数は 7,394 人であり、令和 5 年度利用者数(7,634 人)から減少した。減少の理由としては、入院した人が多かったことにより、利用回数が減ったことなどが挙げられる。
事業実施状況	仕様書通りに事業を進めており、機能訓練や介護予防を中心としたプログラムを行っている。
地域との協働等	ボランティア団体との協働を行っている。
その他	